

2025年10月19日

日本図書館研究会 2025年度図書館学セミナー
公共図書館と大学図書館の一体的運営
～箕面市立船場図書館／大阪大学外国学図書館の事例報告～

檜原啓一(大阪大学附属図書館)

1. 箕面市立船場図書館／大阪大学外国学図書館について
2. 公共図書館と大学図書館の一体的運営
3. 各施設との連携事業
4. 複合公共施設としての運営
5. 終わりに

【参考文献等】

- ◆ 箕面市立船場図書館. <https://www.library.osaka-u.ac.jp/minohsema/>
- ◆ 大阪大学附属図書館外国学図書館. <https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/>
- ◆ 箕面市立図書館. <https://www.city.minoh.lg.jp/library/index.html>
- ◆ 野原亜希, 日高正太郎. 箕面市立船場図書館の開館:指定管理者としての取り組みから. カレントアウェアネス-E. E2457, 2021.9, <https://current.ndl.go.jp/e2427>
- ◆ 坂田絵理子. 新しい外国学図書館のご紹介. 大阪大学図書館報. 55(1), 2022.3, https://www.library.osaka-u.ac.jp/pr/publish/kanpou_198/article_01/
- ◆ 赤澤久弥. 箕面市立図書館と大阪大学附属図書館の連携. 日本図書館研究会研究例会. 2023.1, https://researchmap.jp/akazawa_hisaya/presentations/40067606
- ◆ 大村武史. “大阪大学「大学図書館と市立図書館の一体的運営による社会連携の取り組み”. 国立大学図書館協会. インタビュー・シリーズ 新たな知のケミストリー, 第12回, <https://www.janul.jp/ja/projects/ga/interview/osaka>
- ◆ 徳永智子. 箕面市立船場図書館:大阪大学外国学図書館との一体的運営による新しい図書館. 大学図書館研究. 2024, vol.125, <https://doi.org/10.20722/jcul.2163>
- ◆ 日高正太郎. 公共図書館と大学図書館の一体的運営:開館から4年経過して見えてきたもの. 図書館総合展2025フォーラムin茨木. 2025.5, <https://www.libraryfair.jp/forum/2024/1151-0>

(参照 2025-10-06)

大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

OU MASTER PLAN
OU2027
生きがいを育む社会の創造

公共図書館と大学図書館の 一体的運営

～箕面市立船場図書館／大阪大学外国学図書館の事例報告～

大阪大学附属図書館 檜原 啓一

1

大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

OU MASTER PLAN
OU2027
生きがいを育む社会の創造

本日の内容

- 箕面市立船場図書館／大阪大学外国学図書館について
- 公共図書館と大学図書館の一体的運営
- 各施設との連携事業
 - 3-1) 大阪大学との連携
 - 3-2) 生涯学習センターとの連携
 - 3-3) 文化芸能劇場との連携
 - 3-4) 地域団体・住民との連携
- 複合公共施設としての運営
- 終わりに

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー

2

1. 箕面市立船場図書館／
大阪大学外国学図書館について

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー

3

経緯: 市と大学の抱えていた課題

箕面市: 北大阪急行の延伸実現 ⇒ 箕面船場地区の再開発
大阪大学: 箕面キャンパス施設の老朽化 ⇒ 移転先をどうするか

2016年4月、解決策として
箕面船場地区へのキャンパス移転合意

現在の図書館の構想が生まれ、今に至る

▲ (左) 倉田哲郎、箕面市長、(右) 西尾章治郎・大阪大学総長 ※ともに当時

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー

4

合意書の主な内容

(3) 文化交流施設、図書館

◇ 箕面市は、箕面キャンパスの移転に伴い、船場東地区に市立文化交流施設及び図書館を整備します。

◇ 図書館には市の蔵書11万冊と大阪大学の蔵書60万冊を所蔵します。

◇ 大阪大学は、文化交流施設及び図書館の管理運営を将来にわたり無償で請け負い、市民及び学生等にサービスを提供します。

(2016年4月12日、大阪大学と箕面市の報道資料より抜粋)

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー

5

箕面市と大阪大学の図書館

箕面市立図書館(7館)
中央図書館
船場図書館

大阪大学附属図書館(4館)
総合図書館
理工学図書館
生命科学図書館
外国学図書館

一体的運営(2021年5月開館)

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー

6

つまり
箕面市立船場図書館は、
大阪大学が指定管理者として運営する、
公共図書館機能と大学図書館機能を
あわせ持ったユニークな図書館です。

※箕面市と大阪大学、箕面市立図書館と大阪大学附属図書館の関係性や
これまでの経緯の詳細は、参考文献等をご覧ください。

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 7

7

2. 公共図書館と大学図書館の一体的運営

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 8

8

設備面の一体的運営: フロア構成

箕面市立
船場図書館の——
蔵書 約11万冊

大阪大学
外国学図書館の
蔵書 約60万冊

※5・6階は箕面市立船場生涯学習センター(指定管理者: 大阪大学)

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 9

9

設備面の一体的運営: 館内のようす

2階
市立図書館機能フロア
児童書

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 10

10

設備面の一体的運営: 館内のようす

2階
市立図書館機能フロア
一般書

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 11

11

設備面の一体的運営: 館内のようす

3階
大学図書館機能フロア
参考図書

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 12

12

設備面の一体的運営:館内のようす



**3階
大学図書館機能フロア
ラーニング・コモンズ
グループ学習室、等**

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 13

13

設備面の一体的運営:館内のようす



**4階
大学図書館機能フロア
10万冊の大学蔵書
複数タイプの閲覧席
研究個室**

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 14

14

設備面の一体的運営:館内のようす

- ◆入り口や各フロアを隔てるゲートは、ない
フロアごとに機能を分けていたが、その区別を意識することなく、シームレスに利用できる。
- ◆(大学図書館由来の)3-4階の設備も市民の利用可
閲覧席はもちろん、ラーニング・コモンズ、グループ学習室、研究個室等も利用可。
※一部の設備は、利用手続きが必要
※中高生の持込学習のみ、指定された専用席へ

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 15

15

サービス面の一体的運営:2階カウンター



左側が大阪大学、
右側が箕面市のシステム
サインでの明示はなく、
場面に応じて職員が適切な
カウンターへ案内(誘導)する
※図書館システム、業務ネットワークは別

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 16

16

サービス面の一体的運営:資料の利用

- ◆資料の幅が広がり、市民は学術書(2-4階の大学蔵書)を、大学生は小説やエンタメ雑誌などを気軽に利用できる
- ◆貸出は、図書館システムが異なるためそれぞれの利用者登録が必要。よって、市民も学外者として登録すれば、大学蔵書を貸出可
- ◆書庫(1F)は、本学構成員は手続きを経て入室可。カウンターでの出納になるが、市民も書庫資料を利用可
- ◆返却ポストは、市蔵書／大学蔵書に関わらず投函可(要カウンター返却の資料を除く)

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 17

17

サービス面の一体的運営:レファレンス

- ◆大学図書館のツールを使ったレファレンス
- 「現在のウズベキスタン内にあったホレズム帝国の遺跡等の写真が載っている本」
⇒モスクワ東洋美術館の図録(ロシア語)を紹介
- 「自民党のシンボルマークの制定時期について」
⇒新聞記事データベースで検索

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 18

18

3.各施設との連携事業

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 19

19

3-1)大阪大学との連携

市民向け講座
「日本写真史の謎～笑顔写真誕生物語～」
大阪大学日本語日本文化教育センター教員による日本文化紹介講座。(2025.2.23)

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 20

20

3-1)大阪大学との連携

市民向け講座
「詩と音楽の小箱～南アジアの詩と音楽～」
ウルドゥー語の教員らによる、南アジアの詩の朗読、弦楽器サロードと打楽器タブラによる古典音楽・文化紹介など。
(2025.6.15)

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 21

21

3-1)大学との連携

子ども向けイベント
「遊んで学ぶXin chàoベトナム！」
紙芝居や絵本をベトナム語と日本語で読み聞かせ。外国ルーツを持つ子どもにとっては、母語に触れる機会。ベトナム語初学者の学生にとっては発話実践の場。
(2024.12.21)

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 22

22

3-1)大学との連携

子ども向けイベント
「もっと!(もっと)しりタイランド」
タイ語と日本語での絵本読み聞かせ、学生自作のタイ昔話のパネルシアター、タイの文化紹介。
(2025.6.21)

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 23

23

3-1)大学との連携

大阪大学夏まつり実行委員会企画「本で開こう！世界の扉」
学生団体である実行委員会による夏まつり企画の一つで、本をテーマにしたイベント。子ども向けの絵本読み聞かせ＆クイズ、大人も参加できる「スタンプラリー」。
(2025.6.28)

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 24

24

3-2) 船場生涯学習センターとの連携

大学図書館職員による生涯学習講座

図書館上階にある船場生涯学習センターの主催講座。図書館職員が講師を務め、大学図書館におけるガイダンスの経験を生かし、市民向けにアレンジして、「図書館活用法」「図書館職員の検索術」などを年2回ほど実施。

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 25

25

3-2) 船場生涯学習センターとの連携

「ここどもプロジェクト」
謎解きミッション☆
図書館棟にかくされた「ことばのカギ」を探そう！

船場生涯学習センター主催の子どもも向けイベント。船場図書館は、会場としてだけでなく、企画内容にも協力。

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 26

26

3-2) 船場生涯学習センターとの連携

講座関連展示

船場生涯学習センターの生涯学習講座に関する資料の展示。

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 27

27

3-3) 文化芸能劇場との連携

【展示】アメリカ絵本を楽しもう！エリック・カールとコルデコット賞受賞作品【箕面市立文化芸能劇場公演関連展示】(2/28~5/1)

隣接する東京建物 Brillia HALL 箕面(箕面市立文化芸能劇場)にて開催されるイベントに関する展示。

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 28

28

3-4) 地域団体・住民との連携

せんばこどもたぶんかクラブ

船場図書館を会場として、2024年8月にフレイイベント、9月から毎週開催。

外国ルーツを持つ子どもたちの日本語・学習サポート、地域に住む多様な大人や、背景を共有する子どもたちと出会いの場をつくることを目的とする事業。図書館を会場としてすることで、多言語絵本などの豊富な資料を活用、地域の多文化共生拠点として機能することも期待。

主催は箕面市だが、(公財)箕面市国際交流協会(MAFGA)を中心に、阪大ふくふくセンター(人文学研究科附属複言語・複文化共生社会研究センター)と船場図書館の3者が連携して実施。メディエーターとして、阪大の教員・学生・卒業生もスタッフとして参加。

2024年度文部科学省「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用事業。

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 29

29

3-4) 地域団体・住民との連携

こども未来会議「こんな図書館がいいなあ」

箕面船場まちづくり協議会が主催の子ども向けイベント。船場図書館をグループで探検し、気づいたことを話し合って発表する。(2025.2.16)

パネルミーティング

箕面船場まちづくり協議会により、2021年の開館以来、11月下旬～12月下旬に、図書館棟の三角窓と図書館前の船場広場が彩られる。(2024.11.25撮影)

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 30

30

3-4) 地域団体・住民との連携

地域ボランティアとの協働

絵本の読み聞かせや障害者向け音読サービスは、地域のボランティアに協力して実施。時には、大人向けの絵本の読み聞かせも。

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 31

31

4. 複合公共施設としての運営

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 32

32

複合公共施設全体のスキーム

PF事業
・真面市
・事業契約
・指定管理者の指定
・SPC
・委託
・設計実施者
・工事監理実施者
・建設実施者
・駐車場運営・維持管理者
・付帯施設運営・維持管理者
・文化ホール運営者
・(株)ヨウード・ファクリー
・生涯学習センター運営・維持管理者
・大阪大学
・大阪大学
・図書館は、平日夜間と土日祝日、生涯学習センターは窓口業務全般を外部委託。
・大阪大学とSPC「施設の維持管理に関する協定」

真面市ウェブサイト(仮称)真面駅前地区まちづくり拠点施設整備運営事業(PFI事業)について
(<https://www.city.minoh.lg.jp/machidukuri/sentenpfi.html>)より

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 33

33

主な会議体および情報共有

- ◆真面市立図書館館長会議(毎月)
- ◆(阪大)附属図書館館長・副館長会議(毎月)
- ◆OUグローバルキャンパス運営会議(毎月)
- ◆複合公共施設情報連絡会(毎月)

SPCの代表企業、文化ホールの運営者、図書館及び生涯学習センターの指定管理者(阪大真面図書館課、社会連携課)、生涯学習センターの業務受託者による定期的連絡会。課題や工事、催事予定等について、共有・意見交換を行う。

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 34

34

複合公共施設としてのメリット/デメリット

【○メリット】

- ・サービスや事業の幅が広がる(アイデア提案や協働・協力の依頼をするにも、日常的な関係の構築が必須)
- ・大学/公共図書館については、特性が異なるため、資料の相互補完が可能。
- ・施設維持は、専門知識を有するSPC担当者にお任せ(相談)できる。

【×デメリット】

- ・リスク分担や責任所在をどこまで明確化するか。
- ・ステークホルダーが多く、対応や協議事項の調整が大変。
- ・大学/公共図書館という点では、それぞれの利用者の理解に差がある。

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 35

35

5. 終わりに

- 複合化のあり方はさまざま

面倒なことも多いかもしれないが、その関係性を生かして、新たなサービス展開や運営の効率化へつなげることが大切。

- 船場図書館の事例は特殊なもの

単に、「自治体が、図書館の運営を大学に委ねてみた」というものではなく、以前からの協力関係や相互に抱える課題、鉄道延伸と地区再開発など、複雑な状況からの一つの解である。

2025年10月19日 2025年度図書館学セミナー 36

36